

学びに磨きをかける 絶好の機会



金丸 紋子
(カリタス女子中学高等学校)

内容解説資料は
こちらから
ご覧いただけます



オーセンティックなテキストで「読む」楽しさを体験しよう!

2年 Take Action! Read 1では、博物館のアクティビティの案内というオーセンティックなテキストから、必要な情報を読み取り、Readに示された4人の人物の興味・関心等を考慮しながら、博物館での過ごし方やプランを練る練習をする。読解力だけでなく、思考力・判断力・表現力も合わせて磨いていくことができる。「目的をもって読む」「情報を整理しながら読む」楽しさを体験させたい。

Step 1 : Warm-up (3分)

場面設定の確認とその状況におけるスキーマの活性化をねらい、教科書を開く前に、リラックスした雰囲気でも口頭でQ&Aを行う。“Have you been to museums lately?” “Which museum did you go to?” “What do we usually see first when we enter the museum building?”などの質問をすることで、生徒が自由に経験や想像をもとに応答し、以降の活動で情報を読み取るための準備をすることができる。

Step 2 : どんな情報が書かれているか想像してみよう (3分)

アクティビティの案内の大枠を捉える。教科書をまだ閉じた状態で、これから読む案内は“Activities” “Attention” “Map”の3部構成になっていることを生徒に伝える(板書するとよい)。そして、それぞれにどのような情報が載っているか、生徒にペアで考えさせ、予想をクラスで共有する。Step 1と同様に、状況に応じて生徒が持っている知識を活用させて主体的に取り組みせたい。

Step 3 : 目的を把握しよう (2分)

Readの指示を読み、取り組む課題(読解の目的)を理解する。何のために読むのか、その目的を明確にして必要な情報を読み取るようにすることで、読むという活動が生徒にとって意味のあるものになるように仕掛けるためである。

Step 4 : 単語や表現に慣れ親しもう (5分)

アクティビティの案内の詳細を読む。書かれている情報と脚注の単語をクラスで音読する。ここでの活動は「読むこと」がメインではあるが、Step 5以降のペアワークなどで情報交換をする際に正しく発音できるように、音読の活動を通して音に親しむ。

Step 5 : 情報を読み取る (10分)

“Activities”に書かれた情報を“Map”と照らし合わせながら読む。アクティビティと時間、場所の把握を主に意識させたい。また、わか

らない単語がある場合、脚注を参考にするように声かけをする。生徒はペアで、一人がアクティビティと時間、場所を伝え、もう一人が“Map”でその場所を指す。これを交互に行う。“Activities”に書かれた時間や場所を把握し終えたところで、“Attention”を読む。

Step 6 : おすすめのアクティビティを選ぼう (20分)

Readの指示を読み、4人の人物のニーズや興味・関心にあったアクティビティをペアで相談して決める。一日もしくは半日、博物館に滞在すると仮定して、おすすめのプランを組む。その後、クラスで共有する。

Step 7 : 自分の取り組みを振り返ろう (3分)

ページ下のふり返りの項目を読み、自己評価を行う。

Bonus Step

時間に余裕がある場合は、Bonus Stepを追加することもできる。

- ①ペアでシンプルな「やり取り」の活動にチャレンジする。一人が4人の人物の役になり、もう一人がおすすめのアクティビティやプランを紹介する対話を作ったり、実際に演じて発表したりする。
- ②生徒がこの博物館に行くと仮定して、最も興味があるアクティビティを1~2つ選び、その理由をペアやグループ、もしくはクラスで共有する。



博物館の
アクティビティの案内

Read
(おすすめのアクティビティ
を考える)